

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/09/06

Forex

| | Close | CHANGE |
|-----------|--------|---------|
| USD/THB | 36.58 | -0.10 |
| JPY/THB | 0.2602 | -0.0014 |
| USD/JPY | 140.60 | 0.40 |
| EUR/THB | 36.33 | -0.17 |
| EUR/USD | 0.9929 | -0.0025 |
| USD/CNH | 6.943 | 0.027 |
| SGD/THB | 26.07 | -0.10 |
| AUD/THB | 24.87 | -0.11 |
| USD/INR | 79.85 | 0.05 |
| USD Index | 109.53 | 0.00 |

Commodity

| | Close | CHANGE |
|-----------|---------|--------|
| GOLD | 1,713.0 | 0 |
| WTI (Oil) | 86.87 | 0 |
| Copper | 7,653.5 | 20.5 |

Stock

| | Close | CHANGE |
|-------------|-----------|---------|
| SET (TH) | 1,622.00 | -0.15 |
| NIKKEI (JP) | 27,619.61 | -31.23 |
| DOW (US) | 31,318.44 | 0.00 |
| S&P500 (US) | 3,924.26 | 0.00 |
| SHCOMP (CN) | 3,199.91 | 13.43 |
| DAX(GER) | 12,760.78 | -289.49 |

Bond

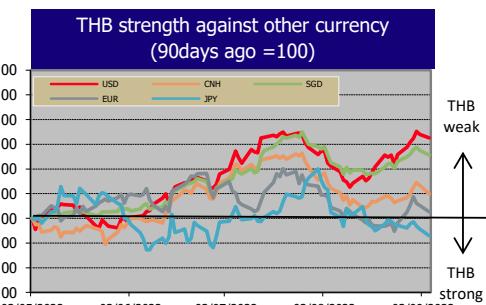
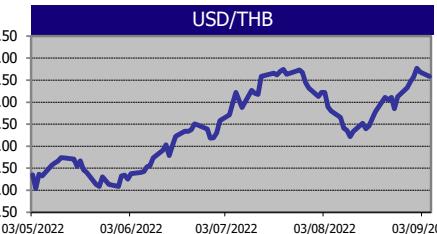
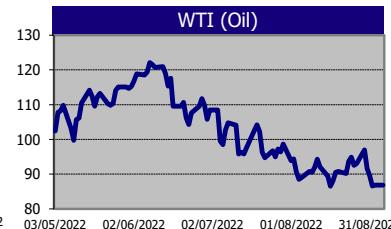
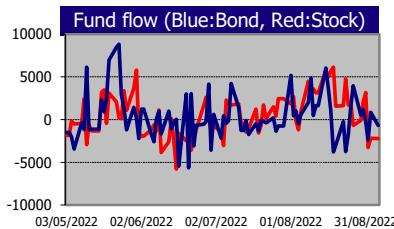
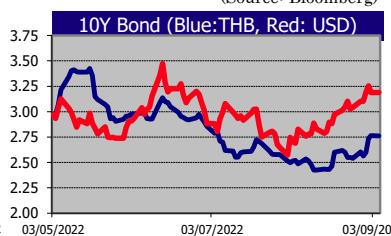
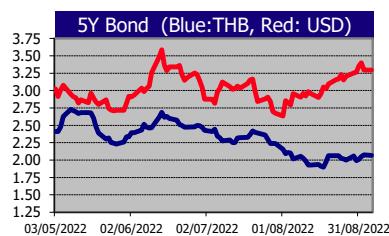
| | Close | CHANGE |
|-----------|-------|--------|
| 5Y (THB) | 2.066 | -0.010 |
| 10Y (THB) | 2.761 | -0.004 |
| 5Y (USD) | 3.293 | 0.000 |
| 10Y (USD) | 3.189 | 0.000 |

Fund Flow (Overseas Investors)

| | Close | CHANGE |
|----------------|---------|---------|
| Stock net flow | (2,220) | -30.3 |
| Bond net flow | (692) | -1533.1 |

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルバーツ

昨日のドル/バーツは下落した。36バーツ台半ばでスタートしたドル/バーツは、序盤36バーツ台後半まで上昇し、注目されたタイ8月CPIの発表を迎えた。結果は前年同月比7.86%の上昇となり、約14年ぶりの高水準となるも、ほぼ市場予想通り(同+7.90%)の結果であったこともあり、一時はバーツ高に振れるも、相場への影響は限定的に。その後はドル休日の中、セタプット・タイ中銀総裁が金融政策についてポリシーの正常化に遅れずについての発言したことが伝わったこともあってか、バーツ買が進行。結局36.58レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル/円は小幅に上昇した。昨日のドル/円は140円丁度付近でスタート。2日、ロシア国営ガスプロムにより、主要ガスタービンの油漏れが見つかったとし、問題が解消されるまで「ノルドストリーム1」による欧洲へのガス供給は再開されないと発表されたことを受け、欧洲域内全体へのエネルギー危機が深刻化するとの見方が広がる中、ユーロ/ドルが下落。ドル/円についてもドルが堅調に推移する中、140円台半ばまで上昇するも、その後は米国休日の中、同水準での推移が継続し、結局140.60レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

タイ中銀(BOT)による金融政策委員会(MPC)が今月28日に予定されている中、同会合の決定に大きな影響を与えるであろうタイ8月CPIが昨日発表された。結果は前年同月比+7.86%と約14年ぶりの高水準となった。内訳を見てみると、生鮮野菜(前年同月比+15.78%)、食肉・家禽・魚(同+15.15%)、石油燃料(+21.65%)といった生活に直結する項目の伸びが目立つ。10月からタイの最低賃金は平均でおよそ5%程度引き上げられる予定であるが、足もとの状況が継続すれば、その恩恵を感じることは難しそうだ。

係る状況下、28日MPCにおける決定が注目される。先述の指標結果を見れば、利上げの可能性は相応に高いことが想定されるが、会合当日にかけて、その利上げ幅やその後の見通しについての思惑に相場が振られる展開が想定できる。前回利上げ時はタイ中銀のセブタット総裁から利上げを示唆する発言が相応に確認できた。今回も同総裁や関係者の発言には当然ながら留意が必要であろう。先月MPC後は積極的な利上げは不要と発言していた同総裁であるが、考えに変化はないのか、MPC当日にかけてヘッドラインやニュースを注視しておきたい。(末廣)